

164射出成型機を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	1 ～ 2	工場で、射出成型機に金型ゲート部の樹脂を除去中、樹脂が噴き出し左右の手に掛かり、両手に水痕を負った。	30	7	10805	30～ 49
2	2020	2	15 ～ 16	工場成型室で、射出成型機から成型品を取り出す作業中、安全ドアを閉めた状態で内部に左手を入れ、製品の突き出し動作を試みたところ、手動スイッチを押し間違えて、型締まり動作が行われ、指を金型に挟み込んで、左手全体に骨折、裂傷を負った。	54	7	10805	100 ～ 299
3	2020	2	11 ～ 12	成形機のメンテナンス中、樹脂の配管が詰まったので取り除こうとしたところ、樹脂が噴き出して顔に掛かり、火傷を負った。	28	11	11403	30～ 49
4	2020	2	14 ～ 15	工場内で次の作業準備中、近くで稼働している連続成型機に異常が生じ、本来なら機械を停止してから確認するところを慌ててとっさに手を入れ、右腕・前腕を骨折した。	26	7	10805	10～ 29
5	2020	3	11 ～ 12	工場内にて押し出し成形機で建設資材の製造作業中、製品のねじれを直すために、本来であれば引き取り装置ガイド手前で行うことになっているが、ガイド内側で製品に触れようとしたことにより、右手親指を製品と引き取り機のゴム製キャタピラーの間に挟まれ右CM関節脱臼を負った。	27	7	10805	10～ 29
6	2020	3	8 ～ 9	成形工場で、成形機の洗浄剤をホッパー下にあるフィードスクリュウに投入する際、こぼれたので軍手を着用した手で拭いていた。その際、軍手がスクリュウに絡まり、左手が巻き込まれて薬指	61	7	10805	50～ 99

				を骨折した。				
7	2020	4	10 ～ 11	工場内で、半自動成形作業中、スイッチ操作を誤り、取出機が下降し、チャック板と金型の間に左手が挟まり、左手に挫創、靭帯損傷を負った。	47	7	10805	100 ～ 299
8	2020	6	19 ～ 20	担当設備成形機の部品の外観確認と箱詰め作業の際、成形機の金型から自動落下する部品を溜める部品箱を取り出そうと左手で持ち、手前下に引きながら右手で奥の取っ手を持つようとして、右手を成形機の下に入れたところ、右手人差し指が金型に挟まれ切断した。	20	7	11409	1000 ～ 9999
9	2020	7	8 ～ 9	成形機で作業中、成形中の金型が開き始めた際、機械内部にあるエアセンサーの不調に気付いた。手動運転へ切り替えることを知らなかったため、そのまま右手を入れて触っていたところ、スライド板に挟まれ、小指と薬指に裂傷を負った。	22	7	10805	100 ～ 299
10	2020	8	12 ～ 13	成形機の上部（高さ85cm）で、原材料供給機器のメンテナンス中、足を踏み外し、地面に落下し、大腿骨を折った。	51	1	10805	50～ 99
11	2020	8	5 ～ 6	温度調整器の不具合で、押出機内部の樹脂温度が異常に上昇したため、一旦停止し温度が下がったので作業をしようとしたところ、高温の樹脂が噴出し、右肘部第3度熱傷、顔面および頸部に熱傷を負った。	42	11	11709	10～ 29
12	2020	11	10 ～ 11	成形作業場で、電動1000t成形機で金型の変更のため生産トライ中、金型内の樹脂が高温（250℃）となり調査をするためバルブの開閉ボタンを押したとき、ゲートが開き高温の樹脂が飛散した。その際、目と顔に飛散し熱傷を負った。	28	11	11402	100 ～ 299
13	2020	11	16 ～ 17	工場内で、プレス機の清掃中、機械を手動に切り替え作業した際、タッチパネルに触れ、右手の甲が挟まれ、挫傷を負った。	48	7	10903	10～ 29
			9	工場内で、金型の段取替え作業中、油圧スイッチを切り忘れ、クラ				10～

14	2020	12	～	ンプ作動スイッチに触れた際、クランプに右手指を挟み、右手人差	21	7	11502	29
		10		し指、中指を骨折した。				

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。